

ここに掲載している情報は、発表日現在の情報です。検索日と情報が異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

## 日刊工業新聞社／東京産業人クラブと㈱ログの共催で 経営トップセミナーを開催しました

株式会社ログは10月15日、日刊工業新聞社\*本社セミナー会場において、

「今だから分かった、元日産幹部が明かす改革成功の真相

日産ゴーン改革 実は資源発掘の活動だった！」

と題した4時間の経営トップセミナーを開催しました。このセミナーは、日刊工業新聞社／東京産業人クラブと当社の共同開催によるものです。また、このセミナーシリーズは主に中堅製造業・サービス業の経営トップの方々を対象にしたものです。両日とも経営トップだからこそその知見が披露される参加者同士の交流などもあり、好評のうちに終了しました。（\*東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル）

今回のセミナーは、経営危機にあった日産をV字回復させたカルロス・ゴーン社長の経営改革を事例にして、“新PM”技法のセオリーを学ぶ内容でした。

前半は、実際にゴーン新社長の下で、改革の断行を推進した当時の幹部の奥海邦昭（現当社副社長）から“Nissan Revival Plan”で得た経験・ノウハウを解説しました。

（写真：経営トップセミナーの風景。スクリーンの右に立つのは、講師の副社長 奥海邦昭）



後半は、当社社長の津曲公二から、日産で実行された「組織横断活動（Cross Functional Team）の事例から、プロジェクト推進の技法としてさらに進化させた当社の「CCPM／6つのモジュール®」（注、末尾参照）の技法を学んでもらいました。そして、なぜゴーン改革から15年を経た今でも、成長を続けられているか、その秘訣を

株式会社ログ

東京都品川区北品川1-19-5 コーストライン品川ビル 5F (〒140-0001)

電話：03-6433-0565 E-MAIL：info@logokk.com URL：http://www.logokk.com

解説しました。その核心は、日産自動車の企業文化として引き継がれ現在も根付いており、今いる「ヒト」がやる気を起こすと短期で業績向上と中長期での事業の成長を大きく進展させるにあることでした。

参加された経営トップの方々からは、日産自動車の具体例と実務的な新 PM 技法の両方を学び、「日頃の経営の思いを実現させる方法論が見つかった」との感想を寄せていただきました。



(写真：経営トップセミナーの風景。スクリーンの左に立つのは、講師の社長 津曲公二)

また、この経営トップセミナーは、7月13日、10月9日の開催につづいて今回は3回目となりました。なお、次回以降の経営トップセミナーの日程が決まりしだい、当社のホームページにてご案内します。

(注)「CCPM/6つのモジュール®」

CCPMとはTOCを活用したクリティカルチェーン プロジェクトマネジメントのこと。体系化された科学的な仕事の段取り術であり、業務遂行チームを束ねるマネジメント力を技法化したものを言う。

有期性、独自性、価値創造を行なうプロジェクトにおいて、そのチームの行なう業務を開始から完了までのプロセスを6つのモジュールにまとめたもの。プロジェクト目標、スケジュール、実行コントロールなどからなり、プロジェクトチームのマネジメントを行なう重要な役割を全て包含している。中でも、プロジェクト目標の明確化、見える化、共有化を手法化したこと、従来欠落していた経営と現場をつなぐマネジメントのメソッドとして活用できるところに大きな特長がある。

以上